



平成15年5月8日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所2号機用新燃料の輸送について

当社、敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉：定格出力116万kW）は、本日、新燃料集合体32体を下記のとおり受け入れました。

記

1. 輸送年月日

平成15年5月7日 17時45分 三菱原子燃料株式会社 発（茨城県那珂郡東海村）
平成15年5月8日 7時10分 敦賀発電所 着

2. 輸送数量等

新燃料集合体 32体（輸送容器16個に収納）

3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

4. 輸送方法

陸上輸送

以 上

参考資料 輸送における安全性について

『輸送における安全性について』

1 . 輸送物の種類

A 型核分裂性輸送物

2 . 輸送容器の概要

型式：M F C - 1 型

形状：円筒形

寸法：長さ約 5 m、外径約 1 m

重量：約 4 . 2 t（輸送容器だけで約 2 . 8 t）

材質：鋼鉄製

3 . 輸送物の安全確認

本輸送物については、別添に示す国の安全基準を満たすことを国の指定確認機関である（財）原子力安全技術センターにより確認されたものです。

4 . 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両等への積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しています。

なお、万一緊急の事態が生じた場合には、最寄りの消防・警察・自治体および官庁等に連絡するとともに、適切な措置をとることとしており、十分な安全対策を講じることとしております。

以 上

『 A 型核分裂性輸送物の安全基準 』

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第 59 条の 2 に基づき国が定めている、『 A 型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

線量当量率

表面で 2 . 0 ミリシーベルト / 時以下
表面から 1 m 離れた位置で、0 . 1 ミリシーベルト / 時以下

表面密度限度

α 線を放出する放射性物質の場合、0 . 4 ベクレル / cm^2 以下
 α 線を放出しない放射性物質の場合、4 . 0 ベクレル / cm^2 以下

また、A 型核分裂性輸送物の試験条件には、

一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

特別の試験条件

9 m 落下試験、棒上の 1 m 落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても、容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することとなっている。

以 上